

10.九州(地域別調査機関:(財)九州経済調査協会)

(-: 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	商店街(代表 者)	来客数の動き	・例年、この時期は台風が襲来して何日か営業ができ ない日があるが、今年はその影響も少なく、客の出足 も例年に比べると多かった。
		一般小売店[生 花](経営者)	単価の動き	・今月は最も高単価である結婚式のブーケ、会場挿花 一式の注文など、数件予約があったため、通常よりか なり良い。
		百貨店(営業担 当)	来客数の動き	・台風による休業はあったが、店内・外でのプロパー 催事への客の来場は好調であった。催事場での買上単 価が上昇した。
		百貨店(業務担 当)	販売量の動き	・昨年の台風襲来や悪天候による来客数減などの反動 もあるが、夏物クリアランスを始め、初秋物の動きも 昨年より力強く、購買意欲を感じる。
		スーパー(店 長)	来客数の動き	・昨年は野菜の相場が高かったが、今年はそれに比べ ると下がっている。しかし売上は堅調であり、来客数 が前年を上回っている。
		スーパー(店 長)	お客様の様子	・全体的に客の購買意欲はあり、客単価の伸びもあ る。台風等が来ると、その前日は非常に購買が多く、 台風が過ぎると購買は止まる傾向にある。
		衣料品専門店 (総務担当)	来客数の動き	・秋恒例の着物の大展示会を開催中だが、来客数は前 年比3%増、買上単価は前年を下回っているが、売上 総額は前年を上回っている。
		家電量販店(経 営者)	競争相手の様子	・グループ店、同業者などの売上をみると、前年比 10%~20%増となっている。
		家電量販店(店 長)	販売量の動き	・販売量の動きも良くなっており、個数単価、客単価 も映像商品を中心に上向きになっている。
		家電量販店(企 画担当)	お客様の様子	・高額品の購入や薄型テレビなどの取付工事の注文が 増えており、やや良くなっている。
		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・台風災害で水に浸かった車が多く、修理、販売とも 目標を上回る。
		乗用車販売店 (管理担当)	単価の動き	・新車や車の整備のイベント等で来場者は非常に多く なっている。成約はなかなか厳しいが、客の購入意欲 はかなり高くなっている。
		高級レストラン (スタッフ)	販売量の動き	・今月は選挙と台風の影響で、来客数が一時的に減少 しているが、販売量は増えている。
		一般レストラン (スタッフ)	お客様の様子	・フリーペーパーに出した広告の効果が非常に良く、 客の流れが良かった。
		その他飲食[居 酒屋] (店長)	来客数の動き	・若い女性客が多く、本格焼酎の注文が多い。
		都市型ホテル (総支配人)	単価の動き	・インターネット販売で客室単価を上げて、客室は そこそこ埋まる。いつもは選挙の影響で宿泊者が減少 するが、今回はほとんど減少しなかった。
		都市型ホテル (副支配人)	単価の動き	・宿泊タイプ別にみると、同じタイプでも単価の高い 方から先に埋まるような傾向がある。
		旅行代理店(従 業員)	販売量の動き	・3連休が2回あり、国内旅行では愛知万博への駆け 込み需要、海外旅行では遅い夏休みが増えたことによ り、動きが良い。
		タクシー運転手	来客数の動き	・連休はあったが、墓参り、観光客等の昼間の利用が 多かった。全体的に車の稼働も良かった。
	設計事務所(所 長)	来客数の動き	・少しずつではあるが、建築相談等の来客が増えてい る。	
	住宅販売会社 (従業員)	単価の動き	・ここ1か月、分譲宅地の問い合わせや来客が増えて いる。	
	変わらない	商店街(代表 者)	来客数の動き	・衆議院選挙の後、佐賀市においては来月中旬にまた 市長、市議会の選挙があり、商店街の人通りは少な い。
		商店街(代表 者)	来客数の動き	・日中はまだまだ残暑が厳しく、駐車場も遠いため、 商店街に近寄る人は少ない。
		商店街(組合職 員)	それ以外	・ビジネスホテルや小売店の廃業が目立つ。空き店舗 がさらに増えている。

商店街（代表者）	来客数の動き	・例年9月は敬老対象者の来店客が多いが、今年は昨年よりやや少ない。年配者の動きがあまり良くない。
商店街（代表者）	来客数の動き	・夏休みも終わり、一段落して全体が落ち着いている。まだまだ買い控えがある。
一般小売店〔青果〕（店長）	それ以外	・3か月前からすると果物の種類は変わっているが、総合的にし好品である果物の相場が上がりにくい。景気としては上向いていない。
百貨店（総務担当）	販売量の動き	・キーテナントが広告媒体を強化したにもかかわらず、売上の伸びが無く、前年度の実績クリアがやっとの状況であるため、厳しい消費環境であることは変わらない。
百貨店（営業担当）	お客様の様子	・8月あたりまでは、ほぼ右肩上がりに良くなっていたが、9月に入ってから停滞気味である。非常に暑かったため、販売量、単価が落ち、衣料を中心に苦戦した。
百貨店（営業担当）	販売量の動き	・9月の福岡天神地区は、前半は台風の影響を受け、厳しい商戦となった。後半は堅調に推移したが、全般的には残暑の影響もあり、売上を伸ばすには至らなかった。
スーパー（店長）	来客数の動き	・店の周りにカテゴリキラーと言われる店がたて続けに5店舗でき、客が分散し、非常に苦戦している。
スーパー（総務担当）	お客様の様子	・食品は前年並みに推移しているが、衣料品は前年を下回るという状況が続いている。
コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・天候も良く、例年と違い飲料、アイス、めん類等の夏物商品の売上が伸びている。客数、客単価とも昨年を上回っている。
コンビニ（店長）	単価の動き	・来客数もそう伸びず、客単価は350円を行ったり来たりで厳しい。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・必要なものは買う、そうでなければ買わないという状況であり、客の動きがはっきりしている。
衣料品専門店（店員）	来客数の動き	・秋物は順調に動き始め、単価も低くはないが、客数が伸び悩んでいるので、景気が良いとは言えない。全体の客数は昨年並みだが、衣料や服飾雑貨の客数が減っている。
衣料品専門店（店員）	お客様の様子	・プロパー商品の中から秋物の先買いをする客もいるが、やはりセール品に近いものを探す客が多く、3か月前と比べてあまり変わらない。
家電量販店（店員）	販売量の動き	・販売量は、台風による水害、風災その他の被害を受けたが、それを除いてもやや弱い。
家電量販店（総務担当）	単価の動き	・薄型テレビ、デジタルカメラ等大きく単価が下落した商品だけがよく動き、高付加価値・高額商品の動きは相変わらず鈍い。
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・販売量は前年度と比べてほぼ変わらないため、景気は良くなっていない。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	販売量の動き	・燃料油の出荷状況は、ほぼ前年並みである。原油高で小売価格も上昇しているが、個人客の消費意欲はさほど変化がない。
都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・来客数、客単価ともに大きな変動はない。
タクシー運転手	お客様の様子	・台風の影響で前半は人の動きがなく、後半は県外からの人の入りも悪い。
タクシー運転手	お客様の様子	・気候が良く、この業界にはあまりいい時期ではないが、残暑が厳しいということもあり、例年よりは若干、客の利用が多い。
タクシー運転手	来客数の動き	・今月は選挙があったため、それに関連して報道関係者の動きが良かった。
通信会社（企画担当）	販売量の動き	・加入促進キャンペーンを打ち出してはいるが、期待したほどの数字の向上は見えていない。
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・9月は例年、夏休みの反動で落ち込む時期だが、3連休は高稼働をしており、ゴルフも堅調である。また、団体のコンベンション利用が台風14号被害の影響で、若干キャンセルがでている。
観光名所（職員）	来客数の動き	・ゴルフ場については土曜日の入場者数が前年に比べてかなり減っており、平日と同じような推移をしている。
ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・来客の動きは、ほぼ横ばい状態である。

	設計事務所（代表取締役）	お客様の様子	・都心部のマンション以外では、住宅の販売状況は思わしくないため、民間の開発の動きが鈍く、宅地開発などの受注に結びついていない。公共側の建設工事関係の発注量も減少傾向にある。	
やや悪くなっている	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・8月まで、回復基調にあったミセスの購買が、9月になり消極的になっている。	
	百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・昨年と比べ営業日が1日多かったが、売上が前年比100%を切っているため、悪くなっている。	
	スーパー（店長）	販売量の動き	・昨年は台風による備えの買物で随分単価、点数が増えていたが、その反動で今年は落ちている。来客数はさほど変わっていない。	
	スーパー（店長）	単価の動き	・残暑が続く夏物衣料の売行きが良く、秋物が全く売れない。食品も生鮮を中心に、昨年よりかなり悪い状況で推移している。今年1月に入った新しいテナントを含めても、やっと前年比105%、既存テナントでは同92%程度となっている。さらに競合店もできており、大変厳しい状況である。	
	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・9月6日の大型台風の直撃で、午後過ぎから閉店したことによる、大幅な客数減が月間売上にも大きく影響している。あわせて、残暑による秋物商材の売行きも今ひとつであることから、苦戦を強いられている。	
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近くに競合店の出店があり、客数の減少が続いている。	
	住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・月初めの台風と総選挙の影響も少しあるが、2回の連休での客の動きが思うように伸びなかった。プライダル家具の動きも鈍かった。	
	通信会社（業務担当）	来客数の動き	・例年、9月は法人需要を中心に販売が伸びるが、今年はそれがなく、また一般客の来店も少ない。週末も以前ほど来客数が多い状況である。	
悪くなっている	競輪場（職員）	販売量の動き	・8月を境に、発売額が例年より急激に落ちている。	
	百貨店（営業担当）	それ以外	・近隣に大型商業施設がオープンして4か月がたったが、来客数、売上ともに苦戦している。特に土日に中心市街地に流入する客が激減している。	
	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・先月は前年比103%ということで前年をクリアしていたが、今月は前年比96%で終わりそうである。特に前年比100%を超える部門がなく、身回品が前年比97%、雑貨が前年比98%、婦人衣料品が前年比96%である。特に上旬は台風の影響から、前年比88%とかなりダウンしている。来客数は前年比97%とほぼ前年並みとなっており、客単価、一品単価も落ちていないが、購買率が落ちている。	
	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月は選挙があり、飲食業としては会社関係が接待に出ないので、かなり厳しい状況になった。	
	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・愛知万博などの影響で、来客数は減っている。	
企業動向関連	良く なっている	-	-	
	やや良く なっている	繊維工業（営業担当）	取引先の様子	・やっと紳士物が潤ってきた。特にユニフォームの受注が多く、景気が良くなってきた。
		家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・大型商業施設等の建設がおう盛である。その動きに伴い、家具の需要が底上げされている。また、家具小売りでも高額商品の動きが若干増えてきている。
		一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先からの商談が活発で、受注量も若干増えつつある。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・製造業の受注量増加に伴って、下請企業の売上高も前年に比べ上昇傾向にある。
		不動産業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・一部の物件で、仕入売上額の上昇がみられる。
		新聞社（広告）	受注量や販売量の動き	・広告の問い合わせが先月までと比べると増えており、発注も多くなっている。
		広告代理店（従業員）	受注量や販売量の動き	・今年度初めて約10%の伸びがみられた。
		その他サービス業〔物品リース〕（役員）	受注量や販売量の動き	・中間決算という要因もあるが、取引先からの引き合い、見積書依頼等の件数は着実に増えており、当社自体の契約額も上向き基調である。

変わらない	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・加工メーカーの需要期に入り引き合いは強いが、工場処理する原料が少なく、思うように供給ができない。スーパー関連、居酒屋関連はまあまあ安定した流れである。
	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・電子部品全体的に秋口から動きが非常に活発になると期待していたが、案に反してあまり変わらず状況はいい方向に転換していない。今のところはまだ在庫調整に時間がかかっている。
	輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・冬物衣料品の荷動きがまだ悪いままである。
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・資金需要が低迷している。
	金融業（得意先担当）	取引先の様子	・取引先では、先月と比べてとりわけ目立った景気の良い話はない。金融関係で貸出金もなかなか伸び悩んでいる。
	経営コンサルタント	それ以外	・最近の受注単価が低いという状況はあまり変わっていない。
	経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・飲食店の酒類売上が前年比30%ほど減少しており、業務卸酒店の売上も悪く、飲食に対して利用が少なくなっている。
やや悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	それ以外	・我々の陶器業界は受注関係も芳しくなく、特に量販店の数量の落ち込みがひどい。同時に燃料であるガスの単価が毎月上がってきているほか、資材関係の絵の具も値上がりし、それを製品に転嫁できないというジレンマがある。また、商品の格付である選別自体が厳しくなってきている。
悪くなっている			
雇用関連	良くなっている		
やや良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	採用者数の動き	・求人件数が増えるにしたがって、アウトソーシングや派遣企業のスタッフ採用が、月を追うごとに困難になっている。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・新北九州空港の開港を控え、航空会社、バス運輸、周辺の自動車生産企業などの動きが活発になってきた。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・例年に比べ、パートタイムの求人の伸びが高い。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年比40%増加しており、新規学卒求人も前年比30%増加している。
	民間職業紹介機関（支店長）	求人数の動き	・求人数は、派遣社員需要・職業紹介とも前年を上回っている。需要が堅調さから明らかな上昇傾向に変わっている。
変わらない	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・派遣依頼の件数は増加傾向にあるが、スタッフの希望職種とのギャップがあり、なかなか成約に至らない。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職申込みのうち、在職中の求職者と1年以上職業経験のない無業者数の前年比プラス傾向が続いている。一方で、事業所を離職した求職者はマイナス傾向が続いており、労働条件がより良い方へ失業することなく転職を目指す傾向が出てきている。
	学校〔専門学校〕（就職担当）	雇用形態の様子	・常用雇用が増えている。
やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者数が前年比で2けた台の大幅な増加を続けており、依然として厳しい状況にある。
悪くなっている	-	-	-